



士別ロータリークラブ会報

創立1960・3・24 RI第2500地区

vol.26 No.2662

2018～2019年度 国際ロータリーテーマ
インスピレーションになろう
 2018～2019年度RI会長 バリー・ラシン



■RI HP <https://www.rotary.org/ja>
 ■士別RC HP <http://www.douhoku.jp/shibeturc/>

2018～2019年度士別ロータリーのスローガン

「紡ぎ合う 互助の力で 未来へ」



写真/村中德行氏

- 例会場/士別グランドホテル
 - 例会日/毎週月曜日 12:10～13:10
 - 事務所/士別グランドホテル TEL:(0165)23-1234
 - 会長/佐藤元保 ■副会長/奈良康弘
 - 幹事/穴田俊昭
- (平成31年)

今日のプログラム

第2746回例会 2019年2月25日(月)…〈夜間例会〉

■ 2月18日の記録 ■ 〈普通例会〉

- 司 会 山口 哲雄 会場監督
- 斉 唱 我等の生業
- 本日の出席 会員47名中 出席者34名 出席率72.34% 修正78.72%
- 本日の欠席 江端健之、片庭隆暁、加藤 博、國森和磨、近藤峯世、佐藤和也、鈴木 勉、千葉繁夫、奈良雄二、前田孝幸、本山忠之、山本俊一、渡辺正一
- メイクアップ
- ゲ ス ト
- ビ ジ タ ー
- ニコニコBOX 北村浩史(北洋はまなすクラブ会長就任として)

累計172,000円

例 会 予 定

■3月の例会…《水と衛生月間》

- 3月4日(月)/例会・理事会
- 3月11日(月)/例会
- 3月18日(月)/例会
- 3月25日(月)/夜間例会

■4月の例会…《母子の健康月間》

- 4月1日(月)/例会・理事会
- 4月8日(月)/特別例会
- 4月15日(月)/例会
- 4月22日(月)/夜間例会
- 4月29日(月)/休会(法定休日：昭和の日)

■会務報告……………佐藤元保 会長

2月6日及び13日、ロータリー情報委員会・職業奉仕委員会・プログラム委員会企画の入会5年未満の会員を対象とする「ロータリー塾」が開催されました。本年は3週に亘る開催で、1回目の講師に佐藤元信会員。2回目の13日の講師は神田英一会員。3回目は明後日20日の開催で大野裕一郎会員が講師を務められます。

2月14日、士別地区交通安全協会連合会・士別地区安全運転管理者協会・士別地方安全運転管理者事業主主催の士別地区交通安全祈願祭が士別神社で行われ、今年1年の無事故を祈願しました。

■幹事報告……………穴田俊昭 幹事

1. ガバナー事務所より、第31回全国ローターアクト研修会、国際ロータリー第2700地区ローターアクト第50回地区大会の案内が届いております。日程は4月28日・29日の2日間、開催場所は福岡国際会議場。登録につきましては、3月8日までとなっております。
2. 2019～2020年度のロータリー手帳の予約依頼が来ております。会員で希望される方は穴田までご一報下さい。締切は2月22日となっております。宜しくお願い致します。

■プログラム委員会……………泉谷 勇 委員長

今年のロータリー塾は3回ということで、非常に中身の濃いものになっております。3回目は明後日6時からグランドホテルの2階で開催されることになっております。只今8名の出席となっておりますので、皆さんの中で是非聞いてみたいという方がおりましたら、私の方に連絡くだされば参加できます。但しお弁当の手配がありますので、明日までに連絡いただければ出席扱いとなります。すべてメイクアップ対象となりますので、終わり次第まとめて出席委員会に提出したいと思っております。また、本日は大江会員の会員卓話ですので宜しくお願い致します。

■会員卓話……………大江智宣 会員

昨年10月1日をもちまして、未熟者ながら代表取締役社長になり、色々な方のお話を聞かさせて頂いたり、様々な文献を読ませていただき、その中で自分なりに思い、感じ、考えたことがございます。その中の一つのテーマであります『最低賃金』についてお話をさせていただきます。

全世界で最低賃金は定められています。しかしながら、日本のように地域別の最低賃金を導入している国は、カナダ、中国、インドネシア、日本の4か国のみです。4か国というのは全世界の3%

にすぎません。つまり日本は世界的に見ると稀な制度を導入している非常に珍しい国だと言うことです。

この地域別査定賃金の制度を導入している4か国のなかの3か国と日本では無視できない大きな違いがあります。それは他の3か国の国土が非常に大きいということです。面積で見るとカナダが世界で第2位、中国が第4位、インドネシアが第15位です。それに対して日本は第61位です。

国土が広いという事は、移動するのにも多くの障がいがあり、労働者はそう簡単には移動できません。一方、日本は国土が狭い上に、交通の便が良く容易に移動ができるため、労働者は最低賃金の低い地域から高い地域に移動してしまう可能性が高いのです。そのため、最低賃金の低い地域からは、段々と人が減り、経済には、大きな影響が生じ、衰退していくこととなります。ちなみに、最低賃金ランキングで北海道は12位の時給835円なので、全国で見ると悪いほうではありません。しかし1位の東京の時給985円と比べると1時間で150円も差が出てしまいます。私も東京の大学に行っていた時に東京に住んでいましたが、家賃5万5千円、士別市の平均家賃5万5千円を出せば普通のきれいなアパートに住めます。

これから日本は、生産年齢人口（20歳から65歳までの人口）が減っていき、企業数も確実に減っていきます。その上で、最低賃金の格差をそのままにすると、現在すでに起こっているように士別の若者が旭川、札幌に移動してしまい、さらには札幌の若者が東京に移動してしまうということが続き、地方はますます経済基盤が弱まり、衰退してしまうと思います。最低賃金を全国一律にするには、行政が動かないとどうにもなりません。もし動いて全国一律になったら、そのあとは我々企業経営者、士別市が一丸となって生産性を向上させ、企業、市を守り、雇用の場を守り続けていかなければなりません。……………（次号に続く）

■ 2月の結婚祝い ■

※独身会員にはバレンタインとしてお祝い致しました

